

地元の人で「みなとまつり」を盛り上げ気仙沼の知名度アップに繋げるには

5610B班

I. 序論

目的

みなとまつりを盛り上げて気仙沼の知名度を上げる。

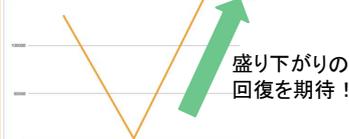
仮説

ホームページを改善して提案 → 参加人数増加

(+映える屋台の提案)

↓
SNSで拡散
知名度アップ!

(参加人数)



(FW先 みなとまつり委員会様資料より)

背景

宣伝不足が原因でオンラインみなとまつりが盛り上がらなかった

(今回は対面での祭りを対象として)
より良い宣伝方法・内容を考える!

III. 結論

みなとまつりが盛り上がり(人数増加)
SNSで拡散されて、それに伴って
気仙沼もより多くの人に知ってもらい、
知名度も上がる。

ホームページの人を
引き寄せる要素



足りない



重要視されている屋台の
気仙沼らしさ

本論のような提案をすることで

みなとまつりが盛り上がる
(参加人数が増える)

II. 本論

参加人数増加のために2つのことを実践!

宮城県内の大学に勤務するS教授の助言より

目に留まるホームページの提案

現在のホームページから、より興味を持ってもらえるようなホームページの案を考えました。

気仙沼らしい映える屋台の提案

気仙沼高校1~3年の生徒、のべ159人に『みなとまつりの魅力は何だと思うか』についてアンケートを取りました。

<現在>

<提案>



屋台が一番人気

・気仙沼らしさ
・若者が好きな映えを意識した屋台で人を集めたい。

鯛焼きパフェ
(気仙沼らしい魚のイメージと、旬の食材の掛け合わせ)



引用: | Pouch「ポーチ」(youpouch.com)

引用: kitchencars-japan.com